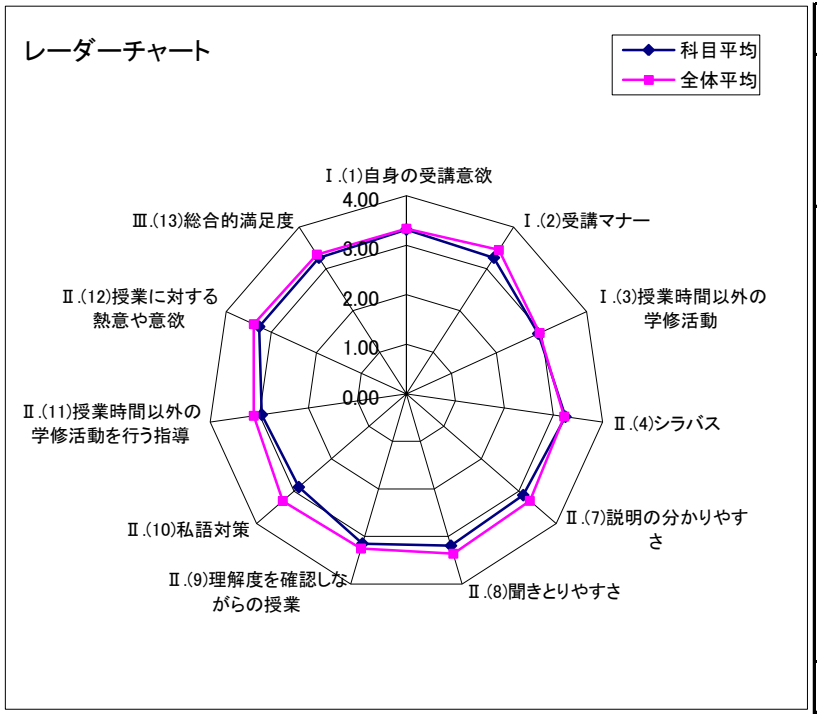
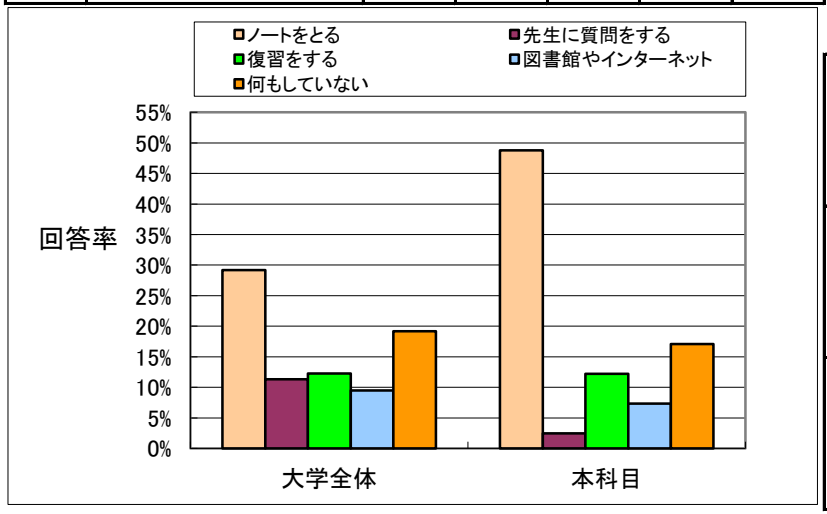
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.32	3.33
	Ⅰ.(2)	3.27	3.45
	Ⅰ.(3)	2.93	2.96
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.24	3.22
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.12	3.30
	Ⅱ.(8)	3.20	3.36
	Ⅱ.(9)	3.15	3.25
	Ⅱ.(10)	2.88	3.30
	Ⅱ.(11)	2.95	3.11
	Ⅱ.(12)	3.27	3.39
総合評価	Ⅲ.(13)	3.27	3.34

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(14)	授業を理解するための工夫	48.8%	2.4%	12.2%	7.3%	17.1%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.17	3.25
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(12)	3.11	3.28
総合評価 Ⅲ.(13)	3.27	3.34

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度　後期
時間割番号	4334
科目名	経営史Ⅱ／経営史
教員名	

①授業計画の達成度について

(1)授業の目標、内容や評価法などはシラバスに明記したが、約15%の受講生には役立たなかった。今後は何度も説明し理解を促したい。(2)私の体調不良で休講を1回した。体調管理に留意したい。また、所定の授業時間の確保を今後はさらに徹底したい。(3)受講生の注意を促すために、特定の事項の箇所の説明のためなどに時間を取りすぎ、当初の計画通りに授業を進められなかった。今後はこれらの点に注意したいと思う。

②授業の進め方について

(1)80%の受講生が授業がむつかしいとし、50%の受講生が授業はやさしいとする。今後はむつかしいとする人にはより平易な説明をし、やさしいとする人には発展的な問題を課すこととしたい。(2)説明がわかりにくいとする人が約15%、聞き取りにくい人が約15%、私語が多いとする人が20%とそれぞれあるので、授業内容に関する 身近な話題の提供や、私語撲滅対策のために座席指定の徹底などの工夫を行い、上記の各割合の減少に対処したい。

(1)要領よい説明、説明の適切な時間配分などはこれまで、自分なりに実行してきたつもりであるが、いまだ不十分であった。(2)私の話を参考にして、受講生自身の考えを形成して欲しいという私の思いが十分に伝わっていない。これも私の力不足である。また、私の授業に熱意や意欲を感じない人と、授業が不満足であると思う人が、ともに約12%であることは大いに反省し、さらに相当の努力をし改善しなければならない。

奈良産業大学